

## 平成26年度 学校評価

[各校の重点取組について]

- ・あいさつ運動の徹底を図る
- ・算数科を中心にした学力の向上を図る
- ・特別活動の見直しと、新たな活動計画の立案

### 学校教育に関する重点取組

1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる	評価Ⅰ	評価Ⅱ
(1) 授業改善の取組を促進するとともに家庭との連携により、学力向上を推進する (2) 特別支援教育充実の取組を促進し、自立や社会参加に向けた主体性を育成する (3) 校種間連携の取組を促進し、滑らかな成長を推進する	3	3
取組とその成果		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力調査結果の分析を学力向上推進委員会を中心に進めた。</li> <li>・全教職員が年1回以上、授業公開を実施した。</li> <li>・研究教科である算数科を中心に授業改善に取り組み、授業改善研究校として授業公開を行った。</li> <li>・2中学校同時期のクラブ見学、入学前テストの実施や生徒会との連携、授業参観等を行った。</li> <li>・月1回特別支援教育委員会を実施し、児童理解を図った。</li> <li>・支援を要する児童の全体での情報交換会を行った。</li> </ul>		
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る	評価Ⅰ	評価Ⅱ
(1) 道徳性育成の取組を促進し、良好な人間関係及び社会とのかかわりづくりに努める (2) 基本的生活習慣確立の取組を促進し、問題行動の未然防止を図る (3) 相談体制充実の取組を促進し、不応行動への早期対応及び長期欠席の改善を図る (4) 進路指導充実の取組を促進し、社会的自立に必要な能力を育成する	2.8	3
取組とその成果		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画に兵庫版道徳教育副読本の活用を取り入れた授業を行った。</li> <li>・全教員が道徳の授業公開をオープンスクールや参観日等で行い、保護者、地域の方への道徳の授業公開に務めた。</li> <li>・異学年で兄弟学級を作り、行事や集会活動などで交流を深めた。</li> <li>・次年度の縦割り活動の実施案を作成した。</li> <li>・あいさつ運動を全職員で行った。</li> <li>・日常的に気になる児童の行動を共有しあい、全校的な視野で生徒指導を行った。</li> <li>・児童の実態に応じて、スクールカウンセラー等を活用し、相談体制の充実を図った。月に1回、課題のある児童について情報交換を行った。</li> </ul>		

<b>3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む</b> (1) 食育を通して生活改善の取組を促進し、望ましい生活習慣を育成する (2) 体育・スポーツ活動の取組を促進し、体力・運動能力の向上を図る	評価Ⅰ	評価Ⅱ
	3.2	3
取組とその成果		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全クラスで食育の授業を行った。</li> <li>・給食週間や、給食、保健便り、集会活動等で望ましい生活習慣やその重要性を知らせた。</li> <li>・毎学期、身体測定を行うとともに、児童の発達段階に応じた指導を行い、自分の体や健康に関心を持たせた。</li> <li>・夏季休業中の水泳指導の方法を変更し、児童の泳力アップを図った。</li> <li>・全校体育を実施し運動に対する意欲づけを行った。</li> </ul>		

<b>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</b> (1) 安全教育の取組を促進し、登下校及び校内の安全確保を図る (2) 防災教育充実の取組を促進し、危機管理能力の向上を図る	評価Ⅰ	評価Ⅱ
	2.9	2.5
取組とその成果		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学期中の登校指導や避難訓練、毎月の安全点検を実施した。</li> <li>・防災マニュアルの役割分担をより実情に応じたものに見直し、災害時すみやかに対応できる体制を再確認した。</li> <li>・危機管理マニュアルを共通理解し、不審者情報等には職員全体で対応する。</li> <li>・夏季休業中に不審者対応研修を実施した。</li> </ul>		

<b>5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む</b> (1) 教職員の資質向上の取組を促進し、学校の組織力向上を図る (2) 地域資源活用取組を促進し、開かれた学校園づくりを図る (3) 学校評価活用取組を促進し、学校運営の改善と発展を図る	評価Ⅰ	評価Ⅱ
	3.1	2.5
取組とその成果		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンスクールで保護者や地域の方々によびかけ、教育活動を見ていただいていた。行事ではアンケートをとり、その結果を今後の学校作りに生かした。</li> <li>・学校運営の課題等を学校評価で明らかにし、全職員で検討、改善を図った。</li> <li>・普段の授業のレベルアップを目指し、校内研究や授業研究会の充実を図った。</li> </ul>		

教育目標	評価Ⅰ	評価Ⅱ
	(1) 教育目標の達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 教育目標の具現化と指導の充実	2.8

取組とその成果

- ・教育目標、めざす子ども像、生活目標を掲示し、教師や子どもが意識しながら教育活動に取り組めるようにしている。
- ・美化活動など、本校の伝統として残っている取り組みを地道に取り組めた。
- ・児童の各行事での工夫や普段の教育活動での取り組みについて、その成果や課題を正しく評価し、励ますことを続けてきた。

研究テーマ	評価Ⅰ	評価Ⅱ
	(1) 研究テーマの達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 研究テーマの具現化と指導の充実	3.1

取組とその成果

- ・研究テーマをもとに、学年、専科でテーマを設定し研究実践を進めた。
- ・月に1回以上研究推進委員会を開き、研修会の持ち方、公開授業の見方、各学年研究の情報交換を行い、系統性のある研究を目指した。
- ・研究発表を行ったことで、算数科に対する教職員の自信が深まった。
- ・講師を招聘し、本校の研究に即した指導助言を受けている。
- ・本校の授業の流れを職員が理解し、取り入れようと努力した。

	評価Ⅰ	評価Ⅱ

取組とその成果

課題と改善策

--